

◆鹿児島市の人口(推計)
令和7年1月1日現在
人口総数 582,717人

◆鹿児島市火災の発生状況
(令和6年中)
火災件数 133件(前年149件)
死者 7人(前年10人)
負傷者 22人(前年18人)



防火の基本は家庭から

防火連だより

第17号

令和7年2月1日
発行

鹿児島市防火協力会連合会
鹿児島市消防局 予防課
TEL.099-222-0970
FAX.099-227-4119

E-mail
yobou@city.kagoshima.lg.jp

2024年度 全国統一防火標語

守りたい 未来があるから 火の用心



令和7年1月12日(日)「令和7年消防出初式」の様子(新栄町 消防総合訓練研修センターにて)

令和七年

春の火災予防運動

三月一日(土)～三月七日(金)



「住宅防火対策と被害の軽減」



鹿児島市消防局
南消防署長

中村 徳明

長年にわたり、鹿児島市の火災の主な出火原因は、こんろや
たき火、タバコなどの要因が上位を占めていましたが、近年、家
庭用電化製品や配線コードなど電気関係の火災が目立つよう
になりました。

私たちの生活は、パソコン・スマートフォン・ゲーム機などの
電子機器や調理器具・洗濯機・乾燥機・掃除機・ドライヤーなど
の電化製品が普及し、それぞれの生活環境に併せて活用され、
便利で快適な生活を送れるようになりました。それとともに、
コンセントを使用することが大幅に増え、配線器具などによる
電気関係の火災の割合は、全国的にも上昇しています。電気関
係が原因の火災は、危険性が見えにくく、予期せぬところから
出火する場合も見受けられます。

コンセント周りや長年使用している冷蔵庫や電子レンジの
裏側に埃が溜まっている状態を放置していたり、タコ足配線や
長い配線コードをきつく束ねて使用していたりすることで、蓄
熱、発火の危険性が高まります。周囲に燃えやすい可燃物があ
ると、それを媒介して、さらに燃え広がる恐れもあります。ス
トープの周りの片づけや使用中のこんろから離れない、寝タバ
コをしないなど、皆さんも日頃から注意しながら生活されてい
ることと思いますが、今一度、火災予防に対する知識をアップ
デートし、部屋の四隅や家具の裏など目立たない場所にある電
気配線やコンセント、家電製品の裏側のチェックをして、上手
に快適な生活を享受していきましょう。

もし、火災が発生した時は、慌てずに119番通報をしてく
ださい。現在、本市では、火災をはじめ、救急、交通事故などの1
19番通報者に対して、スマートフォンから現場の状況を映像
として、消防局に送信して頂く、「119番映像通報システム」
を導入しています。現場の状況を消防局がリアルタイムに確認
することで、通報者の安全行動や現場に向かっている消防隊な
どに対して適切にアシストし、被害を軽減するものですので、
ご協力をお願いします。

これからも、消防局と防火協力会が連携を図り、安心して暮
らせる街を築いていきましょう。

